

2015.04.25

# 今津干潟のチュウシャクシギ、ソリハシシギ





チュウシャクシギ(中杓鷗)シギ科 L=42cm







アオサギ(蒼鷺) サギ科 L=93cm  
カルガモ(軽鴨) ガンカモ科 L=61cm



ハマシギ(浜鷗) シギ科 L=21cm






名のとおり干潟や砂浜、河口、水田等に生息する。  
数万羽に及ぶ大群を作る習性がある。







ソリハシシギ (反嘴鷸) シギ科 L=23cm

ハマシギ (浜鷸) シギ科 L=21cm



日本で見られる数は多くないが旅鳥として各地に現れる。  
春は4-5月ごろ北へ渡る途中に渡来し、秋は8-10月ごろ南へ渡る途中渡来する



ソリハシシギ（反嘴鷸） シギ科 L=23cm



日本では冬季に越冬のため飛来し(冬鳥)、北海道で少数が繁殖する。



ハシビロガモ (嘴広鴨) オス ガンカモ科 L=50cm



嘴は幅広く、和名の由来になっている。英名shovelerも  
シャベル型の嘴に由来する。後肢は橙色。







カタバミ（傍食、酔奨草）カタバミ科





ハマダイコン（浜大根）アブラナ科